

広告付案内サイン・公衆無線 LAN 整備事業における静止画デジタル広告活用について

報告事項 静止画デジタル広告の活用について

○目的

広告付案内サイン・公衆無線 LAN 整備事業を実施するにあたっては、平成31年1月の景観審査部会においてデザインや配置の基本的な考え方について承認をいただいております。本事業においては、静止画デジタル広告の活用について検討をしておりますが、このたび横浜駅・みなとみらい21中央・新横浜駅周辺地区において、静止画デジタル広告を一部導入し、検証を行いますのでご報告いたします。

1 静止画デジタル広告活用についての概要

(1) 本事業における「静止画デジタル広告」の定義

デジタル機器で表示する広告で、静止画かつ一定時間で切り替わるものをいいます。

(2) 整備範囲

横浜駅・みなとみらい21中央・新横浜駅周辺地区

(3) スケジュール（予定）

先行整備（8月頃）：3基

本格整備（9月頃）：20基程度（先行整備含む）

（参考）全体の事業概要

- ・事業者：エムシードゥコー株式会社
- ・設置基数：広告付案内サイン 150基（ポスター広告・静止画デジタル広告）
うち公衆無線 LAN 60基を目標
- ・スケジュール（予定）：令和元年6月頃工事着手、8月工事竣工、9月運用開始

2 設置にあたっての現場確認

静止画デジタル広告を道路上に掲出することについては、照度など配慮する必要があり、横浜駅などのエリアにおいて静止画デジタル広告を先行的に数基設置し、現場確認を行います。現場確認は、静止画デジタル広告とポスター広告の比較のほか、掲出映像の美観、明るさ、広告の切り替えサイクルなどについて、各エリアの地元組織や来街者に景観に関するアンケート調査を行います。調査結果を踏まえ、本格的に複数基を設置する予定です。

なお、静止画デジタル広告は緊急情報配信にも利用可能であるため、今回の静止画デジタル広告を設置後に緊急情報配信訓練を行い、配信体制の確認を行います。

3 今後の展開

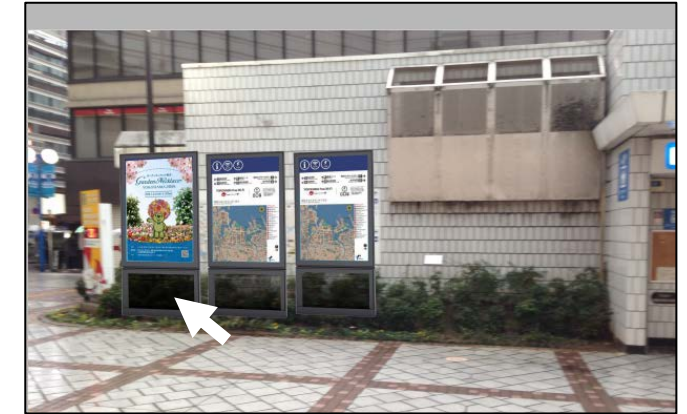
今回の横浜駅・みなとみらい21中央・新横浜駅周辺地区において整備する、静止画デジタル広告付き案内サインの夜間景観に与える影響などを踏まえ、今後の展開について検討していきます。

■静止画デジタル広告確認場所

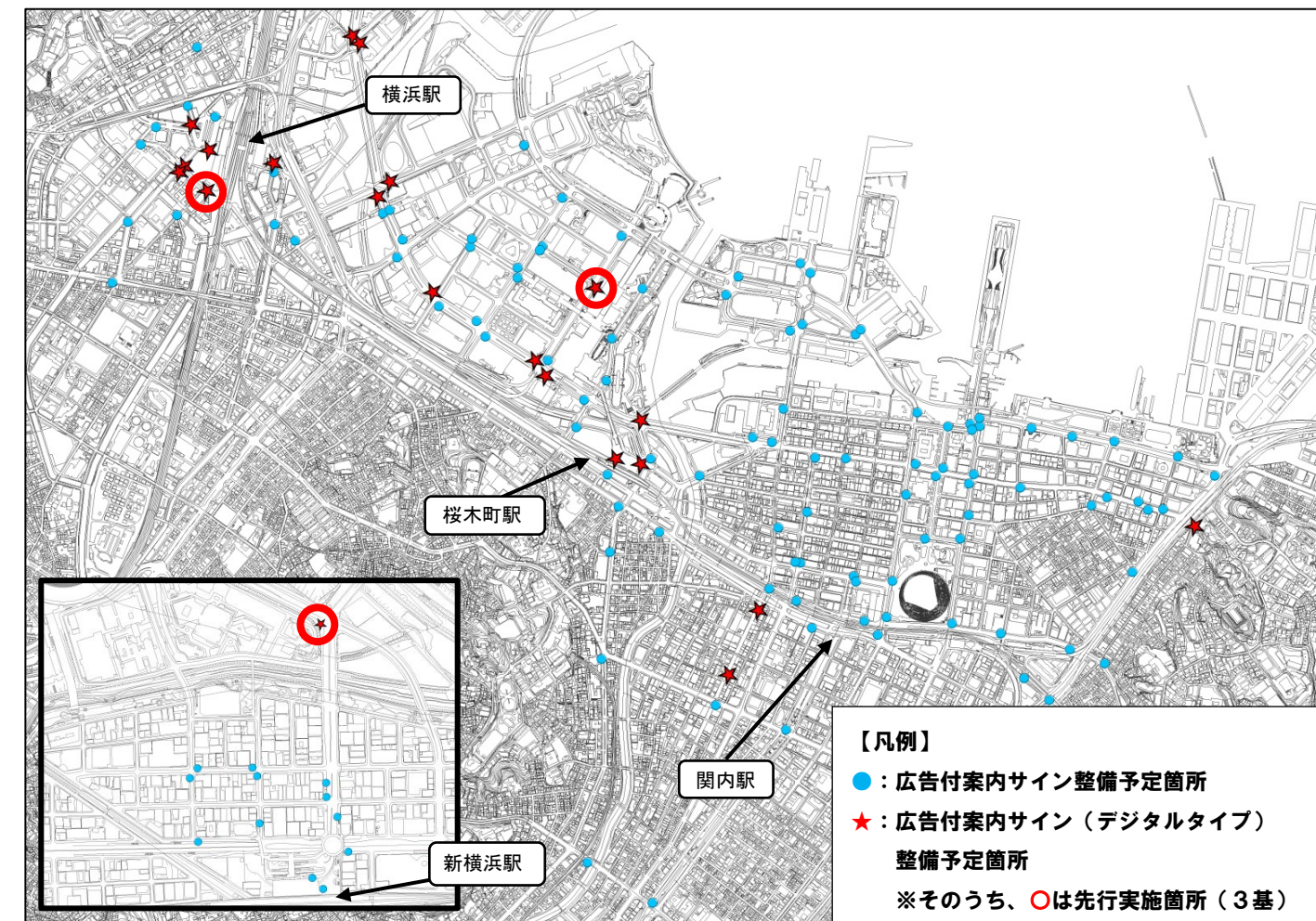
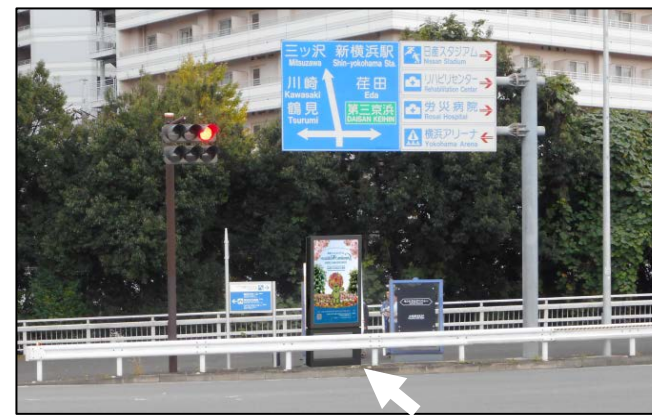
・みなとみらい21中央地区



・横浜駅周辺地区



・新横浜駅周辺地区



○ 本事業における案内サインの配置の考え方

＜案内サインの配置に関する基本方針＞

- ・ 情報提供の面で訪日外国人や来街者が円滑に移動できるよう、駅前広場、主要な交差点及び観光地点を中心とし、公道上に整備を行います。
- ・ 主要な交差点周辺には、原則道路の進行方向に平行に設置し、道路の進行方向に垂直に設置する場合は、運転者のわき見運転誘発による安全性が損なわれない箇所とします。
- ・ 移動の起終点となる駅前広場や観光地点は、多くの来街者が滞在する空間であるため、誰もが情報提供を受けやすいよう既存案内サインに加えて新規案内サインを充実させます。

(参考2) ポスター広告と静止画デジタル広告の比較



バス停添加広告パネル



ポスター



デジタル
ポスタータイプと同程度
(自動調整)

150~350ルクス
*コンビニ店舗の明るさは
500ルクス前後

(参考1) 広告付案内サインのイメージ

